

(授業目標)

看護学の基本となる人間、環境、健康、看護の基本的概念を学び、看護の対象及び保健・医療・福祉における看護の役割について理解する。

(実務経験を活かした実践的な授業)

総合病院における臨床経験を活かし、老年看護学を担当。高齢者の加齢に伴う変化と特徴をとらえ、対象の QOL の維持・向上に向けた援助について授業を行う。

学 習 内 容

- 第1回 どのような看護師になりたいか
そのためにどのような努力をするのか? 目的目標を明らかにする
- 第2回 人間、環境、健康、看護を考える
グループワーク
- 第3回 発表
- 第4回 看護の変遷
世界的な流れ 日本における看護の変遷
- 第5回 看護理論とは グループワーク 理論家についてグループワーク
- 第6回 発表
- 第7回 全体としての人間
・成長、発達する存在
・ライフサイクルと発達課題
・ニーズを持つ存在
・適応する存在
- 第8回 国民の健康・生活全体像の把握
健康の捉え方
看護の定義
- 第9回 ナイチンゲール DVD
- 第10回 看護の役割と機能
事例を用いて看護実践のための根拠を考える

{評価方法}

各レポートの提出状況、出席状況、終講試験

{教科書・参考書}

- ・看護学概論 医学書院
- ・看護学概論 メディカ出版

基礎看護学方法論	単位数 1 単位 時間数 30 時間	講義担当者 丹羽 久美（実務経験有）
（授業目標） 看護記録と看護実践を行うための基本となる考え方を理解し、具体的な看護の展開方法を習得する。 （実務経験を活かした実践的な教育内容） 総合病院における病棟経験を活かし、看護過程を中心に、看護に必要な実践できる方法について授業する。		
（授業内容） 第 1 回（講義） 看護記録とは ・看護記録の法的位置づけ ・看護記録の目的と機能 ・看護師が行う記録 ・看護記録の構成要素 第 2 回（講義） 看護過程とは ・看護過程の構成要素 ・看護過程を展開する際に基礎となる考え方 第 3 回（講義） ・クリティカルシンキング ・倫理的配慮と価値判断 ・リフレクション 第 4 回（講義） 情報収集とは ・情報収集の方法、枠組み 第 5・6 回（事例演習） 情報の収集 第 7 回（講義） 情報の分析 ・看護上の問題の特定 第 8・9 回（事例演習） 情報の分析 第 10・11 回（事例演習） 看護上の問題の特定 第 12 回（講義） 計画立案 ・観察計画 O・P ・援助計画 C・P ・教育計画 E・P 第 13・14 回（事例演習） 計画立案		
評価方法 看護過程事例演習レポート内容・提出期限、受講・演習態度、出席状況（30 点） 筆記試験（70 点）		
教科書・参考書 ・専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学Ⅱ ※実習時に必要となるので、講義に使用するプリントはファイル等に整理するようにしましょう		

基礎看護学技術論Ⅰ	単位数： 1 単位 時 間 数：30 時間	講義担当者：奥田ひとみ （実務経験有）
（授業目標） 看護におけるフィジカルアセスメントの意義と目的を学び、正確なフィジカルイグザミネーションを実践し、正常・異常の判断ができる能力を身につける。 （実務経験を活かした実践的な教育内容） 総合病院における数々の臨床経験を活かし、看護過程の基礎から各専門分野への展開について授業を行う。		
（学習内容） 第 1 回（グループワーク） 第 2 ・ 3 回（講義） ヘルスアセスメント A ヘルスアセスメントとは B 健康歴とセルフケア能力のアセスメント C 全体の概観 ・ 観察と正常値の学習 第 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 回（講義） D 系統的フィジカルアセスメント 1 呼吸器系 2 循環器系 3 乳房・腋窩 4 腹部 5 筋・骨格系 6 神経系 7 頭頸部と感覚器 8 外皮系 E 心理・社会状態のアセスメント 第 9 回（演習） バイタルサイン演習 第 10 回（演習） フィジコさんの体験		
評価方法 終講試験、提出物、出席率、学習・演習態度		
教科書・参考書 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ （医学書院） 基礎・臨床看護技術 （医学書院） 看護につながる解剖生理		

基礎看護学技術論Ⅱ	単位数： 1 単位 時 間 数：30 時間	担当講師： 岡嶋 ゆかり先生 (実務経験有)
(授業目標) 日常生活援助に必要な基礎的な知識・技術・態度について学び安全・安楽・自立を基本とした看護技術を身に着ける。(環境・食事・排泄・活動と休息の援助技術) (実務経験を活かした実践的な授業) 総合病院での臨床経験を活かし、日常生活援助の具体的な手法について授業する。		
指導目標 (学習目標) 1. 環境を整える必要性について理解できる。 2. 食事介助が必要な対象の気持ちを考え、安全・安楽な食事介助の方法が理解できる。 3. 排泄に介助が必要な対象の気持ちを考え、安全・安楽な食事介助の方法が理解できる。 4. 活動と休息の必要性を理解することができる。 5. 活動と休息の必要性を理解することができる。 6. 日常生活援助が対象にもたらす影響について考えることができる。 授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画) 1. 環境を整える 講義・GW 2. 環境を整える (ベッドメイキング) 演習 3. 食生活と栄養摂取の意義 アセスメント 講義・GW 4. 食事介助 演習 5. 食事介助のまとめと発表 GW 6. 排泄のメカニズム・排泄障害 講義 7. 排泄の援助 演習 8. 経口摂取以外の栄養と排泄の処置 GW 9. 活動と休息の援助 講義・演習 10・11. 活動の援助 演習 12. 睡眠のアセスメント 講義 13. 苦痛の緩和・安楽確保 講義 14. 褥法の援助 演習 15. まとめ 講義・DVD		
評価方法 出欠状況、提出物、グループ評価、授業態度、筆記試験		
教科書・参考書 ・基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ・基礎・臨床看護技術 医学書院 ・看護につながる解剖生理 照林社		

成人看護学総論	単位数：1 単位 時間数：30 時間	担当講師：奥田ひとみ (実務経験有)																																													
〈授業目標〉 ①成人期にある対象を身体的・精神的・社会的に捉え、健康上の問題について理解する。 ②健康の保持・増進や疾病の予防に関わる看護を学ぶ。 ③成人の健康障害時の健康レベルに応じた看護の特徴や方法を理解する。 ④すまいと医療・介護の場をつなぐ看護師の役割を理解する。 (実務経験を活かした実践的な教育内容) 総合病院における病棟勤務の臨床経験を活かし、成人看護学を担当、成人の特性と健康問題の特徴及び成人の特性に応じた看護の展開方法について授業を行う。																																															
学習内容 <table border="0" data-bbox="97 819 1353 1675"> <tr> <td>1 回目</td><td>ライフサイクルの中での成人の位置づけ</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>2 回目</td><td>青年期、壮中年期、向老期の特徴と健康問題、成人各期の発達段階</td><td>GW</td></tr> <tr> <td>3 回目</td><td>成人の生活・健康、成人保健の動向</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>4 回目</td><td>成人における健康障害の特徴、予防とその対策 生活習慣に関する健康障害 健康日本21 ヘルスプロモーション 自己効力感 エンパワメント その他成人に関連する法律</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>5 回目</td><td>成人における健康障害の特徴、予防とその対策</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>6 回目</td><td>職業に関する健康障害 生活のストレスに関する健康障害</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>7 回目</td><td>補足内容と理論家について</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>8 回目</td><td>健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>9 回目</td><td>急性期（周手術期、熱湯、中毒、ショックなど）</td><td>GW</td></tr> <tr> <td>10 回目</td><td>治療を必要とする対象</td><td>GW</td></tr> <tr> <td>11 回目</td><td>（回復・リハビリテーション、慢性期、終末期）</td><td>GW</td></tr> <tr> <td>12 回目</td><td></td><td>GW</td></tr> <tr> <td>13 回目</td><td>がん看護</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>14 回目</td><td>がんと共に生きる看護技術（放射線療法）</td><td>講義</td></tr> <tr> <td>15 回目</td><td>まとめ</td><td>演習</td></tr> </table>			1 回目	ライフサイクルの中での成人の位置づけ	講義	2 回目	青年期、壮中年期、向老期の特徴と健康問題、成人各期の発達段階	GW	3 回目	成人の生活・健康、成人保健の動向	講義	4 回目	成人における健康障害の特徴、予防とその対策 生活習慣に関する健康障害 健康日本21 ヘルスプロモーション 自己効力感 エンパワメント その他成人に関連する法律	講義	5 回目	成人における健康障害の特徴、予防とその対策	講義	6 回目	職業に関する健康障害 生活のストレスに関する健康障害	講義	7 回目	補足内容と理論家について	講義	8 回目	健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護	講義	9 回目	急性期（周手術期、熱湯、中毒、ショックなど）	GW	10 回目	治療を必要とする対象	GW	11 回目	（回復・リハビリテーション、慢性期、終末期）	GW	12 回目		GW	13 回目	がん看護	講義	14 回目	がんと共に生きる看護技術（放射線療法）	講義	15 回目	まとめ	演習
1 回目	ライフサイクルの中での成人の位置づけ	講義																																													
2 回目	青年期、壮中年期、向老期の特徴と健康問題、成人各期の発達段階	GW																																													
3 回目	成人の生活・健康、成人保健の動向	講義																																													
4 回目	成人における健康障害の特徴、予防とその対策 生活習慣に関する健康障害 健康日本21 ヘルスプロモーション 自己効力感 エンパワメント その他成人に関連する法律	講義																																													
5 回目	成人における健康障害の特徴、予防とその対策	講義																																													
6 回目	職業に関する健康障害 生活のストレスに関する健康障害	講義																																													
7 回目	補足内容と理論家について	講義																																													
8 回目	健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護	講義																																													
9 回目	急性期（周手術期、熱湯、中毒、ショックなど）	GW																																													
10 回目	治療を必要とする対象	GW																																													
11 回目	（回復・リハビリテーション、慢性期、終末期）	GW																																													
12 回目		GW																																													
13 回目	がん看護	講義																																													
14 回目	がんと共に生きる看護技術（放射線療法）	講義																																													
15 回目	まとめ	演習																																													
評価方法 終講試験 提出物 学習態度																																															
教科書・参考書 成人看護学総論 医学書院 基礎・臨床看護技術 レビューブック																																															